

事務事業名 畜犬管理事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：358

施策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-02-308
基本事業：	02	ペットの適正飼育の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	狂犬病予防注射接種率 ペット、小動物に関する苦情・トラブル件数		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和48年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
畜犬の飼い主			・犬の登録事務 新規登録 犬の所有者や所在地等を登録 登録抹消 犬の死亡による届出 変更登録 所有者等の変更 鑑札の交付 狂犬病予防接種済票の交付 ・狂犬病予防注射の集団接種 4～5月にかけ実施						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）						
・畜犬登録、予防注射により、狂犬病の発生を予防する。									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
畜犬による咬傷事故件数		件	1	2	0	0			30
しつけ方教室参加者数		人	0	50	20	20			20
5. コスト									
事業費		計	千円	1,158	698	675	668		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円	1,158	698	675	668		
一般		千円		0	0	0			
正職員人工数		人工	0.8	0.8	0.9				
正職員人件費		千円	6,337	6,182	7,034				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	7,495	6,880	7,709	668			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		<状況> 啓発物資の配布箇所数は、2箇所増加した。3年ぶりに開催したしつけ方教室は、50名と多数の参加があった。 <原因> しつけ方教室は定員以上の応募があり、飼い主の関心が高いと思われる。 <課題> しつけ方教室の講師は県の予算で派遣されるため、好評であったとしても複数回開催することができない。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和48年 畜犬管理条例制定 令和4年6月1日 犬・猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化					備考・特記事項 or 進行管理欄				